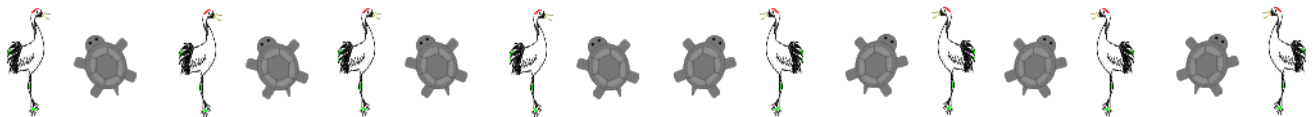


ルミエールケア からの

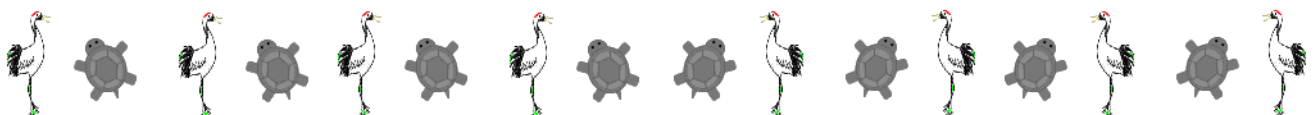
エール!!

平成 22 年 1 月 10 日
新年号
(第 21 号)

有限会社 ルミエールケアサービス
大阪市中央区谷町3丁目1-11
大晋ビル303
代表取締役社長 山本さと子
電話 06-6949-3729
FAX 06-6949-3776



1、	新年のご挨拶	1~3
2、	ことばづかい	4
3、	介護シリーズ 【生活援助】	5
4、	家事シリーズ 【ゴミの分別】	6
5、	感想文 「高齢者虐待～実態と防止策～」	7~8
6、	講習会のお知らせ	9
7、	編集後記	10



「新年のごあいさつ」

平成22年の新春を迎えて

有限会社 ルミエールケアサービス
代表取締役社長 山本 さと子

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は、当社の事業運営に何かと
ご指導ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。
本年も、変わらぬご指導ご鞭撻を
賜わりますようお願い申し上げます。



昨年は、政権交代のなかで、社会経済の低迷、介護労働力の確保等多くの課題を抱えた一年でございました。

皆様方のご指導、ご鞭撻により円滑なる事業運営ができましたことを、心から厚くお礼申し上げます。

本年は、何より低迷を続ける経済からの脱出、長寿医療制度の適正化並びに介護労働者の待遇改善が求められています。ことに超高齢者社会を目前にして介護需要は一段と高まることが予測されますことから、介護労働力の確保・人材の育成並びに介護家族の支援等の課題解決に向けて地域福祉力の向上、安全・安心な高齢社会を構築することが、事業者の一員としての社会的責任であり、又大切な柱の一つと考えております。

新春おめでとうございます。

皆様方におかれましては、
お健やかによき年をお迎えのことと
お喜び申し上げます。 平素は当協議会の事業運営に格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。



さて、シルバー人材センターは、我国が急速な少子高齢化と人口減少が進展するなか、一人でも多くの高齢者の方々が、「福祉の受け手から社会の担い手」となることを理念として、地方公共団体と連携して介護・福祉サービス、教育・育児支援サービス、環境の保全などに携わり、地域社会にあってはかけがえのない存在となっています。

そのような中、介護事業のエキスパートとして（有）ルミエールケアサービス様の多大のご協力、ご支援を賜わりこの紙面をお借りし、深く感謝申し上げます。

国におきましては、行政刷新会議による事業の仕分けでシルバー人材センター事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況になっていますが、そのような時であるからこそ、地域社会のニーズに的確に対応し地域社会から親しまれ、頼りになるセンターを目指してより一層の事業の展開を図る所存であります。

本年も昨年同様何卒よろしくお願い申し上げます。

年のはじめにあたり、社員の皆様方の益々のご健勝、ご多幸そして御社のご清栄を心からお祈り申し上げます。

社団法人 全国民営職業紹介事業協会
大阪事務所長 宮本 求

新年明けましておめでとうございます。



旧年中は、（社）全国民営職業紹介事業協会の事業運営に多大なご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年のリーマンショックから昨年のドバイショックと、いまだ景気の回復が見られず、雇用情勢も依然として厳しい状況が続いております。

国においては、労働者派遣法の改正が予定されており、職業紹介事業への影響もいろいろと予想されるなど、職業紹介事業をとりまく情勢も大きく変わろうとしていますが、新しい「寅」のこの一年を「青波」をとらえ「猛牛」のように進めていきたいものです。

本年も、皆様方の益々のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ、念頭のご挨拶といたします。

「年頭所感」

(財) 介護労働安定センター
大阪支部長 井上 善男

新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましてはお健やかに
よきお正月を向かえられましたことと心より
お慶び申し上げます。



旧年中は当支部の事業運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

厳しい雇用情勢や経済の先行き不透明感が強まるなか、雇用の受け皿として介護への期待は大きく、雇用創出による経済効果も高まることと想われます。

また、初の介護報酬アップや昨年10月から施行された「介護職員処遇改善交付金」の活用などにより職員のモチベーションと定着率の向上につながることを切に願っております。

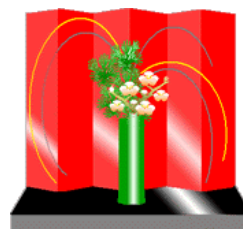
介護事業は、その職務の性質上「人材がすべて」と言える事業でもあり、介護サービス利用者との信頼関係が事業の成否を握っているのではないかと考えております。

当センターでは、介護サービス従事者のスキルアップを図っていただくための講習を予定しておりますので、機会がありましたら是非受講していただければ幸いと存じます。

今年1年が皆様方にとりまして充実した、幸せに満ちた年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

福祉事業者連絡協議会
代表 山本 さと子

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は当協議会の事業運営に格別のご指導を賜わりありがとうございます。



超高齢社会を目前にして、会員相互の連携を図り適正な事業運営並びに介護人材の育成を大きな柱として努めて参ります。

本年も引き続きご指導賜わりますようお願い申し上げます。

〈 ことばづかい演習 〉

平成21年12月10日に研修会を開催いたしました。
その一環として研修会でも行いました「ことばづかい演習」を皆様にご紹介いたします。

例1 「昨日、病院行ってきた？」



昨日、病院にいられましたか？
いらっしゃいましたか？

例2 「具合はどう？」

お加減いかがですか？
お体の具合はいかがですか？



例3 「もう食べ終わった？」



お食事はいかがでしたか？
もうよろしいでしょうか？

※ 以上は研修会のことばづかい演習より一部抜粋したものです。
気持ちの良い丁寧な言葉使いで、より良いコミュニケーションを！！

生活援助

現在の日本では、少子・高齢化が急速に進むなかで、

- ① 一人暮らし・高齢者世帯の急増
- ② 寝たきり高齢者・要介護高齢者の増加
- ③ 昼間独居（同居であっても昼間は一人）の増加
- ④ 高齢介護者の増加
- ⑤ 障害者の高齢化
- ⑥ 状態の多様化・重度化・長期化

などの状況がみられます。

これらのことから、家事の面でも、社会的な援助を必要とする高齢者・障害者が急増してきました。

家事労働の不足は、単純に「生活が不便になる」ということではありません。例えば、食品の買い物や調理ができなくなり栄養不足になると、体力や健康維持にも直結します。洗濯や清掃が行き届かなくなると、不衛生になり、病気の原因にもなりかねません。生活環境の低下や健康状態の悪化は、精神面でも生活の意欲を低下させ、不活発になり、さらに健康状態を悪化させるという、悪循環におちいることすらあります。生活援助サービスは、サービス利用者の生命と生活を支える重要なサービスなのです。



生活援助サービスは、在宅福祉の専門職として、利用者の在宅生活を支えるサービスです。生活に不可欠な家事労働を提供し、サービス利用者の在宅生活の維持・継続・向上を支援します。利用者の生活の質（QOL）の向上を図り、同時に生活意欲の向上と自立生活への意識を高めることを目標とします。サービス利用者の、①自立生活の支援、②QOLの向上③生活意欲の向上

生活援助サービスの第1の機能は「衣・食・住にかかわる家事労働」を利用者のニーズにそって過不足なく提供し、心身の健康を支え、快適で衛生的な生活環境を整え、安心して生活できるようにすることです。

第2の機能として、利用者の家族に代わる「家庭経営の維持・継続にかかわる業務」が考えられます。

例えば①年金の受取り、②薬の受取り、③郵便物・宅配便・電話等の取り扱い、④書類作成の代行、⑤親戚や近隣との交流の援助など、必要な代行業務は利用者の状況によりことなります。

今後は第2の機能が拡大すると予測されますが、プライバシーや金銭にもかかわる内容なので、よりの確な判断が必要になります。判断に困ったときは、一人でかかえこまず、事務所の責任者ともよく相談のうえ、助言を得るようにしましょう。

ゴミの出し方

毎日の生活のなかで必ず発生するゴミは、生活が豊かに、そして便利になればなるほど、その量は増加し、ゴミの種類も多種多様になります。

地域によってゴミの分別法や回収方法などのルールが違います

●基本的な分別方法●

一般的に、多くの地域ではゴミの出し方について一定のルールがありますが、自治体によってその方法はさまざまです。分別法や資源ゴミの収集品目、回収方法などのルールはあらかじめ確認しておくことが大切です。

(1) 分別は大きく、

①燃やせるゴミ ②燃やせないゴミ ③粗大ゴミ ④有害ゴミ ⑤資源ゴミ
の五つに分けられます。

(2) 資源ゴミは、後に資源として再利用されますから、規則に従った方法で出す必要があります。あき缶やあきびん、牛乳パックや発泡スチロールトレイ、ペットボトル、新聞、雑誌、ダンボールなどがあります。

●資源ゴミの出し方●

① あき缶はかならず中をゆすぎます。同じ缶でもアルミ缶とスチール缶を別にして出すところもありますので、缶のマークを確認するようにします。

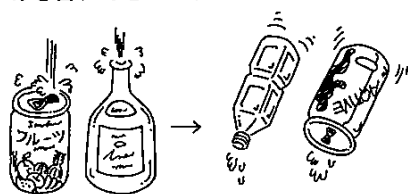
② あきびんは必ずフタを取り、中をゆすぎます。透明、茶色、青（緑）色、黒色に分けるところが多いようです。フタは燃やせないゴミに出します。

③ ペットボトルはキャップを取って、かならず中をゆすぎます。リサイクルマークがついているものだけを出しますので、マークを確認するようにします。

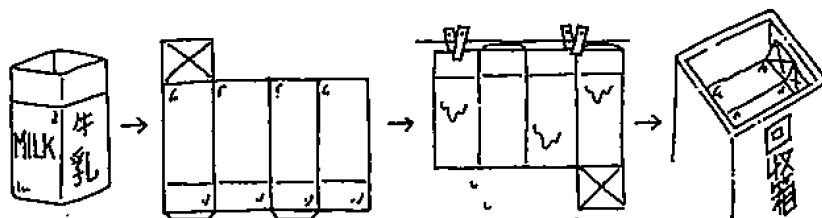
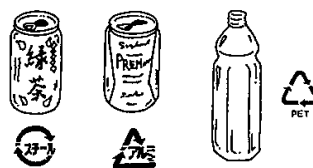
発泡スチロールトレイは洗って、乾かし袋に入れずにそのまま出します。両面が白色だけが対象になります。

④ 牛乳パックは洗った後、切り開き、乾燥させてから専用の回収容器に出します。

あき缶、あきびん、ペットボトル



マークを確認します



高齢者虐待
～実態と防止策～



高齢者虐待を読んで
永島 歩

まず虐待と聞いて思い浮かぶのは殴る・蹴るといった行動ばかりだと思っていました。でも、心理的虐待といった精神的に苦痛を与える行為や身体的虐待といった痛みを与えたり、外部との接触を意図的・断続的に遮断する行為や介護や世話の放棄・放任といった高齢者の生活環境や高齢者自身の身体的・精神的な状態を悪化させる行為や、性的虐待といった本人との合意がない、あらゆる形態の性的な行為とその強要や経済的虐待といった本人の合意なしに財産を処分したり、希望する金銭の使用を理由無く制限するといった行為。大きく分けて5つの虐待があるという事を今回初めて知りました。

今までニュースで虐待されて命を落としてしまっている人がいても、そこまで深く考えていなかったし、考えようともしていなかったのが、私の正直な気持ちでいつも自分には関係がないと他人事にしか考えていませんでした。そして虐待されていた人ばかりをかわいそうだという風にばかり思っていました。でもそうでないという事そして介護や虐待について改めて深く考えさせられました。いつか自分がもしかしたら介護を必要とする人のために働かなければならない日が来るかもしれないし、そうじゃなくても両親の介護をする日が訪れるかもしれない。その時に自分自身365日・24時間付きっきりで介護が出来るのか？と

申し訳ないけど毎日するのは無理だなと思いました。介護する人はそれなりに覚悟が必要だと思うし本当にその仕事が好きじゃないと無理だなと思いました。

今回この本を読むまで、介護がどれほど大変な事なのか、なぜ自分の親や施設の人を殺したり虐待してしまうのか分かりませんでした。でも今こうして思うのは一人で全てしようと思う事、助けてくれたり協力してくれる人がいない事で自分自身を追い詰め虐待してしまうのではないかなと思いました。虐待している事が悪くないとは思わないし、かばうつもりもないけど、でもみんな虐待したくてしているんじゃないかと思うし、今まで世話をしてくれた親なんだから今度は自分が親の世話をして行こうと決めて介護するんだろうけど気付いたら虐待をしてしまっていたという人も数少なくはないと思っています。それに一人で世話をしていると気が狂いそうになるのも分かる気がするし、うつにもなるだろうなって思いました。でも辛いのは虐待してしまう人たち、介護する人たちばかりではないという事も考えさせられました。その逆で介護してもらっている人たちも同じように辛くて悲しい思いをしている人がたくさんいるのだなと思いました。

いつまでも元気に健康で生きたいと思うのはみんな同じだし、そう思うのは当たり前だと思う。病気や認知症になりたくてなっている人なんか絶対にいないと思うし、ましてや介護をしてもらわないといけない身体になんかなるなんて、思っていなかったかもしれない。体が不自由になり世話や介護に頼れるのはやっぱり最終的には息子や娘だけしかいないと思うし、何か事情がない限り他人に介護を頼みたいって思う老人なんかいないと思う。老後は家でゆっくり暮らしたいと思う人が多いと思うし、昔の考えを持っている人がたくさんいると思うから、みんなで居たいと思っていると思う。だから、余計老人ホームや施設に入れられ一人ぼっちになり心細くなって自分は家族から見捨てられた、ほっていかれたと思ってしまうのだと思う。私の父親のお母さんが脳梗塞で倒れてしまい、それが原因で認知症になってしまいました。みんな仕事が忙しく施設に入るしかなく今は、施設で暮らしているのですが、良く口ずさむ言葉は「早く実家に帰りたい」という言葉です。出来ることなら家に帰ってゆっくり暮らしてほしい気持ちはあるのですが、トイレにゴミを捨てたり、着替えができなかったりするし認知症もよくなるどころか、悪くなる一方なので暮らしていくのはちょっと難しいと思う。私のおばあちゃんも含めこんな思いをしている人が多い人のためにどうしたら施設でも楽しく暮らしができるのだろうと思う。家に帰って来た時くらいはゆっくりする事、そんな環境を作る事が大切だなと思います。

日本や日本以外の国でも今もなお虐待している人、されている人がいると思う。ちょっとでも減らしていくには介護の必要性や大切さ周りの助けや協力が、なにより必要だと思う。なによりいなくなっていく命なんてないのだから命の大切さをもっと考えられたら虐待なんかなくなるのではないかと思いました。

(付記)

この原稿は、大阪薫英女子短期大学 生活学科2回生のうち、訪問介護学養成講習受講生全員に課せられたテーマ図書「高齢者虐待」(小林 篤子著)の読書感想文を寄せていただいたものです。



ルミエールケア研修会

平成21年12月10日 研修会を開催いたしました。

研修内容

- ・ 接遇マナー
- ・ 記録簿の書き方
- ・ 事務所からのお願い
- ・ 腰痛体操
- ・ 嚥下について など

多数のご参加
誠にありがとうございました。



◆ 講習会のご案内 ◆

介護技術実技試験対策講習

講習日時：	平成22年2月18日（木）・2月23日（火） 9：30～16：30
受講経費：	10,060円 【受講料：10,000円、保険料60円（¥30×2日）】
受講定員：	30名 （先着順、定員になり次第締切ります。 定員に満たない場合は中止となる場合があります。）
募集期間：	平成22年2月11日（木）まで随時

サービス提供者講習

講習日時：	平成22年2月19日（金）・3月5日（金）・ 3月12日（金）・3月19日（金） 9：30～16：30
受講経費：	17,620円 【受講料：16,000円、保険料120円（¥30×4日） テキスト代：1,500円】
受講定員：	30名 （先着順、定員になり次第締切ります。 定員に満たない場合は中止となる場合があります。）
募集期間：	平成22年1月4日（月）～2月2日（火）

※ 詳しくは（財）介護労働安定センター大阪支部までお問い合わせ下さい。
TEL06-6261-0484

ヘルパー憲章

- 私たちホームヘルパーは、常に社会福祉に携わるものとして誇りをもって仕事にあたります。
- 私たちホームヘルパーは、常に愛情と熱意をもって利用者の自立を助け、その家庭の維持と発展を援助します。
- 私たちホームヘルパーは、利用者の尊厳を守り、常に利用者の立場に立ちながら仕事にあたり、対象世帯や地域住民から信頼されるホームヘルパーになります。
- 私たちホームヘルパーは常に服装や言語に気をつけ、笑顔を忘れず、仕事上で知り得た他人の秘密は口外しないことを約束します。
- 私たちホームヘルパーは、常に研鑽に努め、在宅福祉の第一線にあるものとして、自らの資質向上に努めます。



ホームヘルパー募集！！

まずはご連絡ください。

TEL 06-6949-3729

有限会社 ルミエールケアサービス
担当者 山本まで



〈編集後記〉

- 皆様、明けましておめでとうございます。
12月の中頃から急に冷え込みましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか
- 今回のエール21号(新年号)では生活援助について掲載しております。
皆様是非ご参考にして頂ければ幸いです。
- 社報「エール」並びに「エール別冊 栄養情報」をご愛読、ご指導
また寄稿とご支援いただきありがとうございます。
- 本年も皆様により身近な社報「エール」となるよう努めていきたいと
考えております。
皆様のご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

発行・編集

有限会社 ルミエールケアサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町3丁目1番11号
大晋ビル3階 303号

TEL 06-6949-3729

FAX 06-6949-3776

URL <http://www.lumiere-care.com/>

E-mail lcs3105@chive.ocn.ne.jp